

意見を聴く会等におけるトンネル技術に関する主なご意見

分類	主なご意見
地下水	<ul style="list-style-type: none"> 地下水が層をなしているところにトンネルを斜めに通すことで、地下水が大きな川ようになってしまうのではないか。 シールド工法では地下水に影響はないという詳細な根拠や説明がほしい。 周辺にどのような現象が起きれば道路整備で地下水に影響が及んだと言えるのか教えてほしい。 シミュレーションは実際とは異なるとの認識のもと、環境への影響の範囲を予測する必要がある。 井戸水や生態系の予測、評価をしてほしい。 浄水場の水質に影響が出ないか予測、評価をしてほしい。 地下水系は誰にもわからないので、湧水は復元できないのではないか。 国立公害研究所の論文の中に、昭和 48、49 年に地盤沈下が起きた事実がいくつかあり、また、地下水の漏水は止められないと書かれているが、外環ではどのような対策をとるのか。 地下水や河川の保全対策はどのような工法で行うのか。薬剤を注入するのか。
地震	<ul style="list-style-type: none"> 本線のトンネル区間が長いですが、地震対策はしっかり取るのか。 大深度の地上部への安全性は大丈夫なのか。 造っている間に地震が来たらどうするのか。 先般、新幹線のトンネル現場でも陥没事故があった。地下化は地震が心配である。安全安心の観点から再度見直すべきではないか。 外環の予定箇所に断層はないのか。 地下では地震の影響が小さくても、地上部との境目等が破壊されてトンネル内に閉じ込められたりしないか心配である。

分類	主なご意見
振動	<ul style="list-style-type: none"> 大深度のトンネルから地上部への振動がないかしっかり調査してほしい。 地下 49m程度の地下鉄工事で地上部に微振動が生じた事例があり、大深度でも振動が生じることを前提としてどのような対策がとられるのか。 大深度でないトンネル上部での振動を懸念している。直接頂いた事例資料では、数十m離れたところでも減衰していないが、どう考えたらよいか。大深度だからといってあまり安心できないのではないか。 九州新幹線の大深度地下の上で、振動に迷惑しているという報道があったが、そのような事例についても調べて欲しい。
施工方法	<ul style="list-style-type: none"> 計画段階から工事着工までどのくらいの期間と考えているか。 中央道からもシールドで掘削した方が工期が短くなるのではないか。 工事規模、土工量はどのくらいか。 残土はどこへ搬出するのか。 地下トンネルの上部に住み続けることの安全性をどう考えているのか。 地上部から工事する凍結工法を用いた場合、結果的に地上部街路を整備することになるのではないか。
火災等	<ul style="list-style-type: none"> 火災、爆発等、事故発生時に地上部に影響は出ないのか。 トンネル内で事故が発生した際にはどのように避難するのか。地上まで何kmも歩かなければならないのではないか。煙対策や全員が逃げられるスペースは確保されるのか。
換気	<ul style="list-style-type: none"> 換気塔は実際にどこで試験的に設置されているのか。本当にきれいな空気で排出できるのか。どのような工法を使うのか。 換気所をジャンクションやインターチェンジのみに設置するだけで、周辺の大気への影響は大丈夫なのか。 排気ガスを地上に出す場所が何ヶ所あるのか。山手通りのように、中間部にも換気所を設置してもらいたい。